

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価の集計結果（公表）

事業所名	児童デイサービス 若竹
------	-------------

		チェック項目	回答数	① はい	② どちらとも いえない	③ いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	6			①利用者の特性に合わせた対応をしている。 ①施設内の屋外も活用している。	個室を有効活用し、利用者が安心して過ごせる環境作りを行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	6			①早番、遅番を設け対応している。	資格保有者の体制を整え、柔軟に対応できる職員間の連携を図っていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4	1	1		福祉車両が停められる屋根付きの玄関が必要。移乗の際に濡れてしまう事がある。玄関を含め、事業所内の扉が狭く、車椅子が通る際、ぶつかりそうになる事がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	6	4	2		①個別支援計画やモニタリング会議等で詳細を話し合っている。	定期的に行っている個別支援計画（モニタリング）会議でPDCAサイクルの意識を図り業務改善に繋げていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	5	1		①ハード面では直ぐに改善に繋がらない事はあるが、迅速な対応を心掛けている。	
	⑥	自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	5	1		①自己評価表の結果をホームページで公開する他、結果を配布している。	公開について、ばんだ通信や連絡帳を介して伝えていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	5	1			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	6			①事業所内で介護技術の確認や安楽の提供の為、動作確認の場を考え実践している。	内部・外部の各研修に参加する機会を設けている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6	6			①面談時や書面から得たニーズを個別支援計画に繋げている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	4	2		①定期的な面談で保護者のニーズを把握すると共に会議で課題を整理し、支援の見直しを行っている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	6			①個別活動、レクリエーション活動において対応職員や配置を話し合い実施、活動内容から良かった点や反省点を見出し、次に反映させている。	
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	6	4	2		①学習時間と自由時間を日課で設定し、メリハリをつけた活動を提供している。	利用者によっては固定化されてしまう事もある為、改善が必要。
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	6	5	1		①長期休暇前後に話し合いの時間を設け意見を出し合い、実施と反省から次へ繋げている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	6	6			①一人で、集団活動を通し習得出来る事を考え作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	6			①午前と午後の2回申し送りを実施している。	変更時に混乱しないよう、申し送りで確認し合い、細やかに周知する事に努めていく。
	⑯	支援終了後は職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	6			①終了後の打ち合わせは送迎上っていないが、情報は必ず報告し合っている。	職員の勤務終了時間が異なる為、報告漏れがないように、記録や申し送り帳に記載し情報を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	6			①毎日個々のケース記録に個別支援計画に沿った記録と特記事項を記入している。月毎にケース記録のまとめも作成しており確認がしやすい。	
	⑱	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	6			①年間スケジュールに沿って実施している。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	5	1			行われていない事もあり、ガイドラインへの認識もあまりない為、改善に努めていく。	

関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	6			①児童発達管理責任者が参加している。	
	㉕	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	6			①学校への迎え時に学校の様子や食量、排泄などの確認をしている。	
	㉖	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2	4			看護師を配置しておらず、現在は受入を考えていない。
	㉗	就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2	4		①必要に応じて、相談支援専門員から情報を得ている。	保護者からの情報提供はあるが、保育園との直接的なやり取りはない。必要な際は、連絡を取り合い情報共有していく。
	㉘	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	6	4	2			相談支援専門員を通しては伝えているが、直接的なやり取りはない。依頼があった際は対応していく。
	㉙	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	4			
	㉚	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	1	5		①デイサービス3事業所の責任者が秋田市障がい者総合支援協議会（児童部会）に参加している。	
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	6			①連絡帳以外に送迎時や電話で情報を共有している。知り得た情報は職員間で周知している。	
保護者への説明責任等	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	3	3			個別支援計画作成時の面談などで、相談に対する返答をしているが、ペアレント・トレーニング等の支援内容を明確に伝えられているかは定かではない。職員間でもペアレント・トレーニング支援について勉強する機会を設けていく。
	㉝	運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	5	1		①契約時に行っている。変化があった際は都度お知らせしている。	
	㉞	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	6			①都度対応しており、その場で分からない事は改めて後日答えている。	
	㉟	子どもや保護者からの苦情・意見について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	6				都度対応しているが、その場で分からない事は改めて後日答える事に努めていく。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	6			①ばんだ通信を3ヵ月毎に年4回発行している。	
	㊲	個人情報に十分注意しているか	6	6				個人情報について契約時に確認し、個人情報の取り扱いに十分注意している。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	6			①口頭で伝えるだけでなく、視覚的支援を活用している。	
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	5	1		①地域交流行事として、若竹学園と合同でハロウィン祭を開催。今年度はコロナウイルス感染症の影響で内部行事となった。	
非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	6			①保護者の協力を得て感染対策に努めている。	職員は把握しているが、保護者への周知までには至っていない為、適時お知らせしていく。
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	6	5	1		①若竹学園と合同で避難訓練を実施している。	訓練を実施していることを保護者全員への周知までには至っていない為、連絡帳や送迎時に細かく伝えていく。
	㊷	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	5	1		①研修に参加した職員からの伝達研修を受け共有している。	
	㊸	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	6	5	1			必要時には保護者への十分な説明と同意を得ていく。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	6	6			①保護者からの了解を得て、不明な点は担当医に直接確認し説明を受けている。	
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	6			①ヒヤリハットの事例から、同じ事がおきないように予防策を周知している。	
評価全体の平均値			平均 回答数	平均 回答数	平均 回答数	平均 回答数		
			6.0	5.0	1.0	0.0		